

- 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 -

## 注意事項等情報改訂のお知らせ

降圧利尿剤

日本薬局方 メフルシド錠

# バイカロン<sup>®</sup>錠 25mg

## BAYCARON<sup>®</sup> TABLETS

2025年5月

製造販売元 田辺三菱製薬株式会社

このたび、標記製品につきまして、注意事項等情報を改訂しましたのでお知らせいたします。  
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願いいたします。

### ■改訂概要

| 改訂項目   | 改訂内容                 | 改訂理由       |
|--------|----------------------|------------|
| その他の注意 | 「臨床使用に基づく情報」を追記しました。 | 医薬安通知による改訂 |

### ■改訂内容

| 改訂後(下線部:追記箇所)   | 改訂前  |
|---|------|
| 15. その他の注意<br>15.1 臨床使用に基づく情報<br>他のチアジド類似薬において、急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある。 | (新設) |

### ■改訂理由 <医薬安通知による改訂>

#### 【その他の注意】

海外(米国、EU、カナダ等)において、サイアザイド系利尿薬(サイアザイド類似利尿薬含む)及びアセタゾラミドを含む利尿薬について、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出に関するリスク評価又は措置が行われており、また、スルホンアミド構造を有する医薬品と急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出のリスクとの関連性を示唆する報告がありました。

これらの情報を踏まえ、医薬品医療機器総合機構において、利尿薬のうちスルホンアミド構造を有する炭酸脱水酵素阻害薬(経口剤、注射剤)、サイアザイド系利尿薬、ループ利尿薬について、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出に関する国内外の副作用症例や公表文献を評価され、また専門委員の意見も聴取された結果、サイアザイド系薬剤に分類される本剤(バイカロン)においては、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出との因果関係が否定できない症例は認められていませんが、他のサイアザイド系薬剤で因果関係が否定できない症例が認められていることから、注意事項等を改訂することが適切と判断されました。

- 注意事項等情報改訂の内容は、医薬品安全対策情報(DSU)No.336(2025年6月発行)に掲載される予定です。
- 電子化された添付文書は、下記ウェブサイトにて閲覧できますので併せてご参照ください。

➢ 田辺三菱製薬株式会社 <https://medical.mt-pharma.co.jp/>

➢ PMDA <https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>

- 「添文ナビ」\*で医薬品の外箱等に記載されたGS1バーコードを読み取るとPMDAウェブサイト上の最新の電子化された添付文書を閲覧できます。

※ 使い方は、こちらをご参照ください。

[https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi\\_HowToUse.pdf](https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi_HowToUse.pdf)

※ダウンロードはこちらから

iOS版

Android版



- GS1バーコード

バイカロン錠 25mg



(01)14987128242785

【お問い合わせ先】 田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター [専用ダイヤル 0120-753-280 (弊社営業日の9:00~17:30)]

25-006